

This Page Is Inserted by IFW Operations  
and is not a part of the Official Record

## **BEST AVAILABLE IMAGES**

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

**IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.**

**As rescanning documents *will not* correct images,  
please do not report the images to the  
Image Problem Mailbox.**

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-72356

(43)公開日 平成 5 年(1993) 3 月26日

(51)Int.Cl. <sup>5</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
G 0 4 G 1/00	3 0 5 M	7809-2F		
H 0 4 Q 9/00	3 0 1 B	7170-5K		

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 特願平3-236319

(22)出願日 平成 3 年(1991) 9 月17日

(71)出願人 000002369

セイコーエプソン株式会社

東京都新宿区西新宿 2 丁目 4 番 1 号

(72)発明者 平林 伸夫

長野県諏訪市大和 3 丁目 3 番 5 号 セイコ

ーエプソン株式会社内

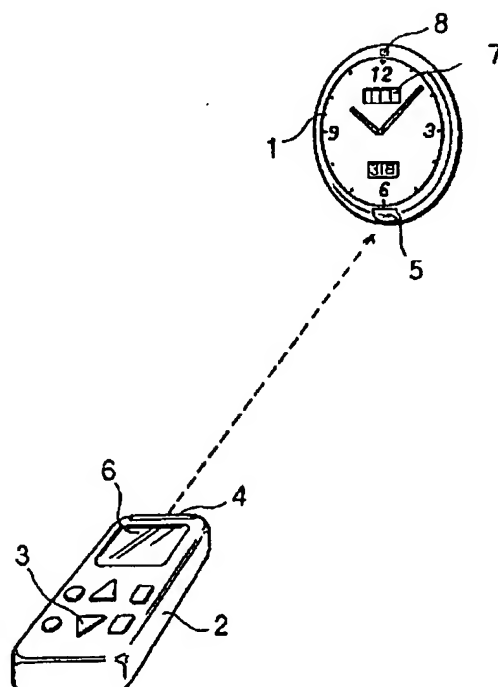
(74)代理人 弁理士 鈴木 喜三郎 (外 1 名)

(54)【発明の名称】 掛時計

(57)【要約】

【目的】従来、掛時計の時刻合わせやカレンダー設定等の調整の度に掛時計を壁から取りはずして調整後に再び壁に掛け直すというような面倒な掛時計の各種調整を手軽に行うことのできるリモートコントロール装置を備えた掛時計を提供する。

【構成】壁や柱の高所に取り付けて時刻を表示する掛時計において、前記掛時計 1 の時刻合わせその他の調整が必要となった場合、使用者は手元のリモートコントロール装置 2 の操作ボタン 3 を操作して調整を行う。リモートコントロール信号はリモートコントロール装置 2 の送信部 4 から掛時計 1 の受信部 5 に向けて発せられる。掛時計 1 には、消費電流低減・節約のため、太陽電池 7 装備、光センサ 8 利用による受信回路のオン・オフ自動切り換え等の工夫がなされている。



1

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 壁や柱の高所に取り付けて時刻を表示する掛時計において、前記掛時計の時刻合わせやカレンダーその他の設定・調整にリモートコントロール装置を用いたことを特徴とする掛時計。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、掛時計の時刻合わせやカレンダーその他の設定・調整方法に関する。

【0002】

【従来の技術】従来の掛時計は、時刻合わせやカレンダー設定等の調整を行うのに、壁の高所に設置してある前記掛時計をわざわざ取りはずして裏面または側面にあるつまみやボタンで調整していた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかし、前述の従来技術では、掛時計の時刻合わせやカレンダー設定等の調整の度に前記掛時計を壁から取りはずして調整後に再び壁に掛け直さなければならないという問題点を有する。

【0004】そこで、本発明はこのような問題点を解決するもので、その目的は掛時計の各種調整を手軽に行うことのできるリモートコントロール装置を備えた掛時計を提供するところにある。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の掛時計は、壁や柱の高所に取り付けて時刻を表示する掛時計において、前記掛時計の時刻合わせやカレンダーその他の設定・調整にリモートコントロール装置を用いたことを特徴とする。

【0006】

【実施例】以下に本発明の実施例を図面にもとづいて説明する。

【0007】図1は、本発明にかかる掛時計リモートコントロールの構成を示している。ここで、掛時計1の時刻合わせその他の調整が必要となった場合、使用者は手元のリモートコントロール装置2の操作ボタン3を操作して掛時計1の調整を行う。リモートコントロール装置

2

2の操作ボタン3を押すことにより、前記リモートコントロール装置2の先端に位置する送信部4からリモートコントロール信号が発せられる。その信号を掛時計1の受信部5で受信し、内部受信回路を経て各種調整が行われる。このとき、リモートコントロール装置2における操作内容を表示する液晶表示パネル等の表示部6をリモートコントロール装置2上に設けておけばさらに操作がしやすくなる。

【0008】受信部5を備えた掛時計1には受信回路が内蔵されているため通常より消費電流は高くなってしまふ。そこで、3V駆動の低消費電流受信回路の採用や太陽電池7の併用によって、消費電流を低減する工夫をしている。また、光センサ8の利用により、自動的にスイッチを切り換えて、明るいときのみ受信待機状態となり夜間就寝時には受信回路を駆動させないようにして消費電流の節約をすることもできる。

【0009】

【発明の効果】以上述べたように本発明によれば、掛時計の時刻合わせやカレンダーその他設定・調整にリモートコントロール装置を用いるとともに受信側の掛時計に消費電流低減のための工夫をしたことにより、従来の製品の基本的性能を損なうことなく、掛時計の各種調整を使用者の手元で手軽に行うことができるという効果を有する。

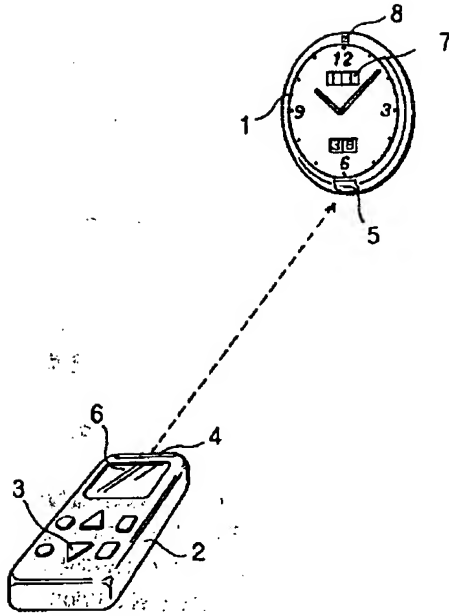
## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明にかかる掛時計およびリモートコントロール装置の構成を示した説明図である。

## 【符号の説明】

- 1 掛時計
- 2 リモートコントロール装置
- 3 操作ボタン
- 4 送信部
- 5 受信部
- 6 表示部
- 7 太陽電池
- 8 光センサ

【図1】



•First Hit

## End of Result Set



Generate Collection

Print

L2: Entry 1 of 1

File: JPAB

Mar 26, 1993

PUB-NO: JP405072356A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 05072356 A

TITLE: WALL CLOCK

PUBN-DATE: March 26, 1993

## INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

HIRABAYASHI, NOBUO

## ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

SEIKO EPSON CORP

APPL-NO: JP03236319

APPL-DATE: September 17, 1991

US-CL-CURRENT: 368/9

INT-CL (IPC): G04G 1/00; H04Q 9/00

## ABSTRACT:

PURPOSE: To obtain a wall clock equipped with a remote control device which allows the performing of various complicated adjustments of the wall clock requiring such complicated ' actions as removing the wall clock at each adjustment for the setting of time and a calendar and the like and hanging it on the wall again after the adjustment handily.

CONSTITUTION: In a wall clock which is mounted at a higher point of a wall or a pillar to display time, when time setting or other adjustments therefor are required, a user operates a manipulation button 3 of a remote control device 2 on hand to adjust. A remote control signal is emitted to a receiving section 5 of the wall clock 1 from a transmitting section 4 of the remote control device 2. Additional innovations of the wall clock 1 are the mounting of a solar battery 7 to reduce or save current consumption and automatic ON or OFF switching of a receiving circuit utilizing a photosensor 8 and the like.

COPYRIGHT: (C)1993,JPO&amp;Japio